

 **コムテック株式会社**

2008年3月期 中間決算説明会

+COMTEC

2007年11月20日

<http://www.ct-net.co.jp>

( コード番号 : 9657)



会社概要

会社概要

- **事業内容** IT関連トータルサービスプロバイダー
- **設 立** 1976（昭和51）年11月6日
- **代表者** 代表取締役会長 伊倉 佳紀
代表取締役社長 菅家 博
- **本社所在地** 〒105-6791 東京都港区芝浦1-2-1
シーバンスN館10F
- **資本金** 7億4,929万円
（JASDAQ上場 1991年11月）
- **売上高** 138億6,700万円（2007年3月期連結）
- **従業員数** 正社員 700名（2007年9月末現在）
（契約社員・パートアルバイト 1,440名）



グループ概要

お客様

総合アウトソーシングサービス



コムテック株式会社

ITサービス
(IT支援)

マーケティング
サポート
サービス
(営業支援)

データ
マネジメント
サービス
(業務支援)

66.0%出資

KCT 株式会社 ケイ・シー・ティ (株)ケイ・シー・ティ
・システム開発/運用

100%出資

Eyegift.co.jp™ (株)アイギフト・ジャパン
・Web製作、インターネットマーケティング、マーケティングサービス

51.0%出資

comnext コムネクスト(株)
・生産管理パッケージソフト販売・開発

100%出資

MC (株)メディアコミュニケーション
・フルフィルメントサービス
・ソフトウェア製造・物流

97.8%出資

BL (株)ベルハート
・テレマーケティング業務及びコールセンター

100%出資

Human Ware (株)ヒューマンウェア
株式会社ヒューマンウェア
・人事総務関連業務代行及び人材派遣

当社グループのサービスモデル3本柱

主要サービス

該当グループ会社

IT支援サービス

利益

ITS
(ITサービス)


システム開発

ITインフラ構築

ヘルプデスク

コンサルティング

 COMTEC

 KCT 株式会社 ケイ・シー・ティ

 Eyegift アイギフト

 Comnext コムネクスト

営業支援サービス

夢

MSS
(マーケティングサポートサービス)

フルフィルメント

テレマーケティング

コールセンター

営業支援／代行

 COMTEC

 MC メディアコミュニケーション

 Bel Hart ベルハート

業務支援サービス

価値

DMS
(データマネジメントサービス)

データエントリー

イメージエントリー

事務処理代行

 COMTEC

 Human Ware
株式会社ヒューマンウェア

コムテック型複合サービス

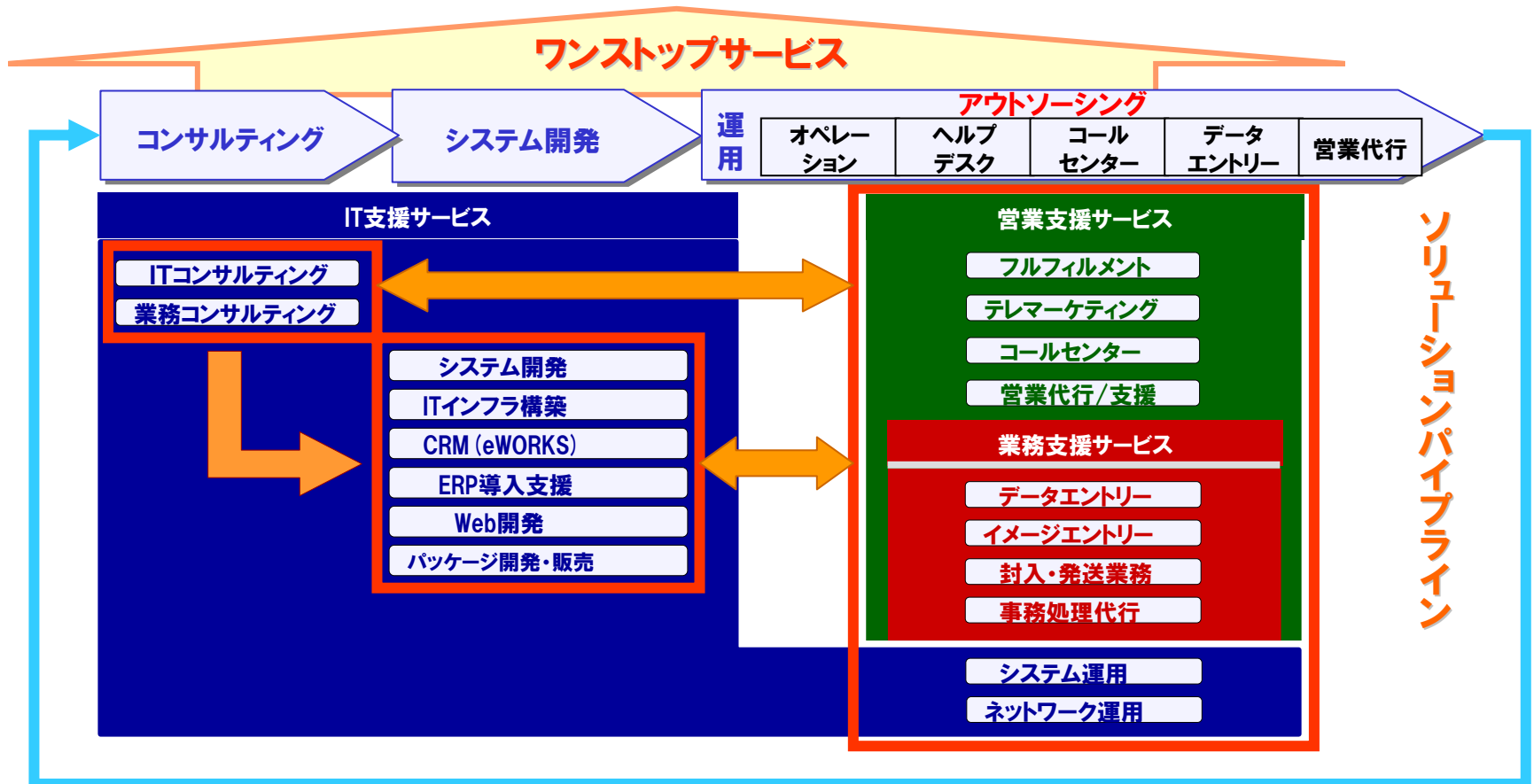
－ コムテックのコアコンピタンス －

ワンストップサービス

ユーザー固有のニーズに合わせてコムテックサービスメニューを組み合わせ、統合的なソリューションとして提供する。

ソリューションパイプライン

コンサルティングから開発、運用・保守に至るまでの一気通貫したサービスを、ユーザーのニーズ/局面に合わせて順次連係し提供する。



業績報告
08年3月期 中間決算概要

08年3月期 中間決算業績

単体、連結ともに 前期比 増収増益(単体は売上利益共に過去最高益を更新)
(単位:百万円, %)

< 単体 >	‘07/3期 中間	‘08/3期 中間	前期比
売上高	5,017	5,431	+8.3%
営業利益	293	341	+16.6%
経常利益	281	341	+21.2%
当期純利益	142	184	+29.2%

< 連結 >	‘07/3期 中間	‘08/3期 中間	前期比
売上高	6,912	7,047	+2.0%
営業利益	319	351	+10.2%
経常利益	306	353	+15.4%
当期純利益	148	174	+17.1%

08年3月期 中間決算業績

－ 増収・増益要因 －

●システム開発、コンサルティングの伸長

- － 生保向けシステム開発、通販向け基幹システム開発が伸長
- － 製造業向け業務コンサルティング、カード系業務コンサルティングが伸長

●ERP導入支援・保守の伸長

●医療機器メーカー向け営業代行サービスが拡大

●ITベンダー向け営業支援が伸長

－ 課題 －

●コールセンター稼働率の改善

●メディアコミュニケーション(MC)の受注センター稼働率の向上と効率化の推進

08年3月期 中間決算業績（セグメント別概況：連結）

売上高

売上増減要因

ITサービス

ITS

IT支援（43%）

利益

- ・売上高 30億31百万円
- ・粗利 7億93百万円
- ・粗利率 26.2%

- ・CT システム開発伸長
生保向けシステム開発、通販向け基幹システム開発が伸長
- ・CT コンサルティング伸長
製造業向け業務コンサルティング、カード系業務コンサルティングが伸長
- ・CT ERP導入支援伸長

マーケティング
サポートサービス

MSS

営業支援（36%）

夢

- ・売上高 25億43百万円
- ・粗利 5億02百万円
- ・粗利率 19.8%

- ・MC 受注センターの稼働率の低下及びソフトウェア製造案件の減少
- ・CT 金型商社向け業務減少
- ・CT 医療機器メーカー向け営業代行サービスの拡大
- ・ITベンダー向け営業支援が伸長

データマネジメント
サービス

DMS

業務支援（21%）

価値

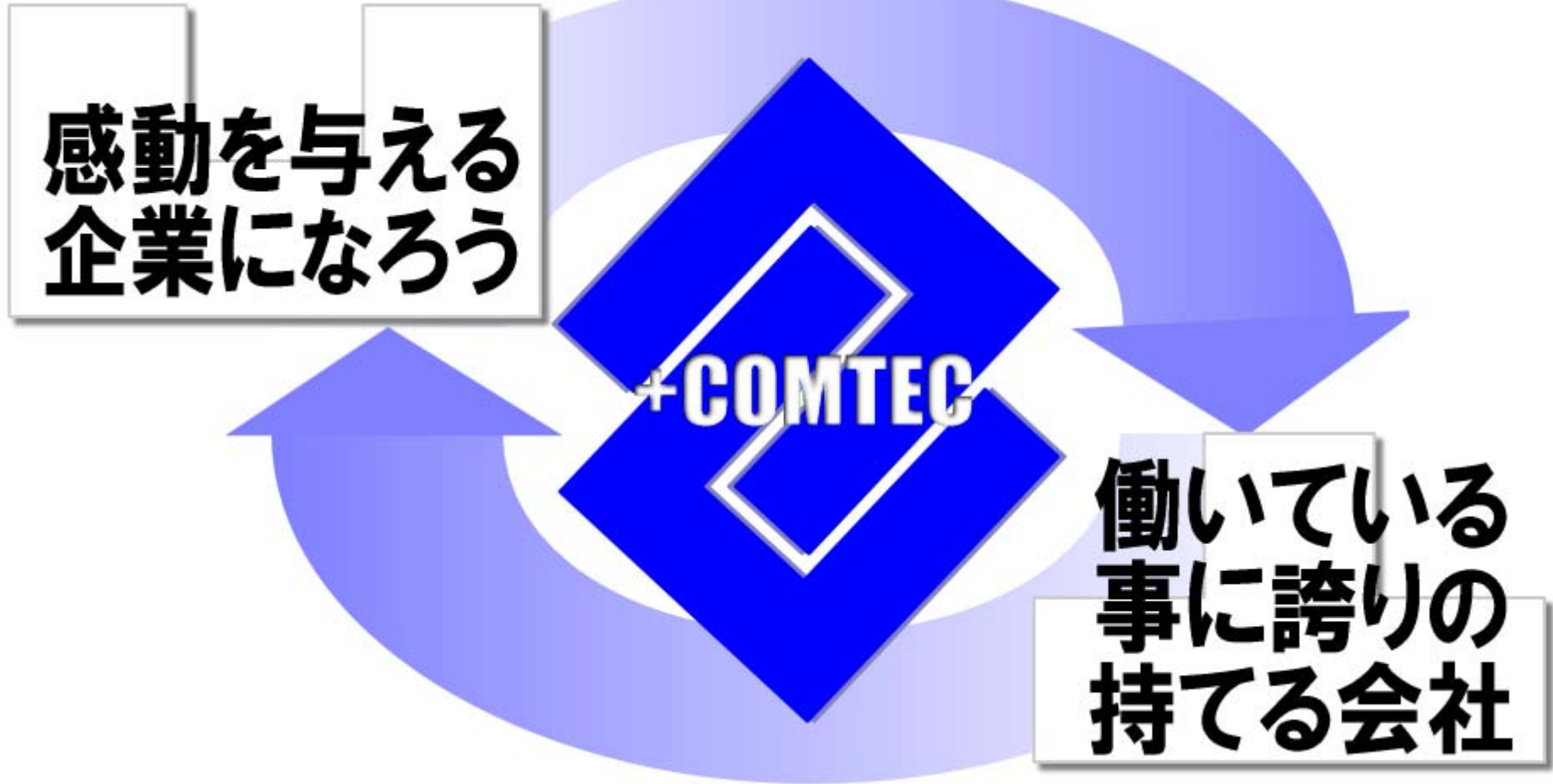
- ・売上高 14億72百万円
- ・粗利 3億37百万円
- ・粗利率 22.9%

- ・CT エントリー業務の伸長
- ・CT 要員派遣業務の伸長
- ・CT 金融機関向け一部業務代行が伸長

08年3月期 下期ビジネス戦略

コムテックが大切にしたい価値観

「スパイラルに進化し続ける」



営業力強化戦略

新規顧客獲得目標：**100社**(2008年3月期～2009年3月期)

1. 新規顧客獲得に向けた営業部隊の意識改革
2. 専門性の高い人材を集めたコンシェルジュチームの編成
3. 新規ビジネスによる新しいマーケットの開拓
 - － シナジー社サービス継承： 8月 1日
 - － コムネクスト社設立 :10月10日
 - － シンカ社買収 :11月30日(予定)
4. グループ営業力の強化(MCの営業改革)

■新規顧客獲得の実績 & 見込

	'07.04-'07.09	'07.10-'07.12	'08.01-'08.03	'08.04-'09.03
新規顧客数	10社	15社	15社	60社

人材獲得戦略-1

採用目標：**80名**(新卒+キャリア 契約社員除く)

1. 新卒海外採用の継続化・・・London (6月) LosAngeles (9月) Boston (11月)
2. 新卒国内採用の強化
 - － 新卒採用サイトの拡充、採用管理ツールの導入、リクルーター制の導入
3. キャリア採用の工夫
4. シンカ社の採用ノウハウを活用

■海外採用事例 Los Angeles CF (2007年9月21日,22日) 参画企業:48社

コムテックブースの来場者数／来場者数	120名／931名	内定者数	25名
--------------------	-----------	------	-----

■新卒・キャリア採用の実績&見込

採用者数	上期	3 Q	4 Q	計
正社員	30名	25名	25名	80名
契約社員 (参考)	74名	21名	30名	125名

人材獲得戦略-2

稼働数目標：**500名**(パートナー)

1. パートナー戦略室を社長直下に設置し役割を強化する
- パートナー稼働数の拡大
2. 技術力のあるパートナーとのゆるやかな連携(M & Aを含む)

■パートナー実績 & 見込

	上期	3 Q	4Q	計
稼働人数	381名	54名	65名	500名
パートナー数	80社	9社	11社	100社

※上期の数値は、上期末時点の累積数です。

品質・技術力強化戦略

コムテック開発センター開設(10月21日)

所在地：港区芝1-5-12 TOP浜松町ビル8F
交通：JR「浜松町」駅 徒歩3分

<<開発センター開設の目的>>

1. SIサービス事業の拡大
- 請負型の複合ビジネス展開(コンサルと協業)
2. 受託開発案件拡大
3. 環境改善・品質向上
4. ISMS認定取得により情報セキュリティの強化
2008年2月認定取得予定

コムテック開発センター8F

新規ビジネス展開 — シナジー社 —

コムテックの新しい
付加価値

コンシェルジュ
機能の強化

新しいサービスの
提供

新しいマーケット
の開拓

シナジー社

2007年8月1日
シナジー社サービスの継承(営業譲渡)

■クイックカード(カード発行システム)



■スタッフマスターFX(勤怠管理システム)



■安心ハイレコ(登下校見守りシステム)

登下校を
メールで
お知らせ



詳細

■ドアオープン商品として見込み客及び
コムテックユーザーに展開

■ASPサービスに加えOEM、SI型導入へ展開

■規模に合わせた導入が可能(3タイプ用意)
・学校(小学校、幼稚園、保育園)へ導入
・放課後スクール、学童保育へ導入
・塾、教室へ導入

新規ビジネス展開 — コムネクスト社 —

コムテックの新しい
付加価値

コンシェルジュ
機能の強化

新しいサービスの
提供

新しいマーケット
の開拓

コムネクスト社

2007年10月10日 
コムネクスト社設立(韓国との合併)

■事業目的

- 製造業向け生産管理ソフトウェア(APSソフトウェア)の販売・開発・導入・運用・保守・教育サービス
- 生産管理業務に全般関するコンサルティング
- APSエンジンとして韓国Zionex社の開発したT³ シリーズを採用

 3Series

詳細

■コムテックグループの役割

- 新たな顧客層(=製造業)の開拓による業務拡大
- 製造業向けのコンサルティング・システム運用・保守等の受託による、ワンストップサービスの強化、拡大

■APS(Advanced Planning And Scheduling)とは？

資材計画と生産スケジュールの両方を同時行うソリューション(MRPに置き換わるソリューション)

■販売戦略

売上高100億～1000億企業をターゲットに、まず、半導体・液晶、食品業にフォーカスし展開

新規ビジネス展開 — シンカ社連結子会社化① —

会社概要

- 会社名:株式会社シンカ
- 代表者:長谷 真吾
- 所在地:(本社)京都市下京区七条通烏丸西入ル東境町191
(東京事務所)東京都港区赤坂3-21-20
- 資本金:489百万円
- 設立:1995年10月
- 従業員数:78名
- 事業内容:リクルーティングプロセスサービス、コンサルティングサービス
- 業績:2006年8月期(実績) 売上高 1,844百万円
経常利益 △57百万円

新規ビジネス展開 — シンカ社連結子会社化② —

コムテックの新しい
付加価値

コンシェルジュ
機能の強化

新しいサービスの
提供

新しいマーケット
の開拓

シンカ社

2007年11月30日(予定)
シンカ社株式の過半数を取得予定

<事業概要>

- リクルーティングプロセスサービス
- ・新卒採用支援・内定者管理システム「e-Fit」の提供
- ・各種コンテンツ制作(採用HP、入社案内、セミナーツール、他)
- ・採用広告代理店サービス
- コンサルティングサービス
- ・採用戦略立案
- ・採用業務プロセス設計
- ・教育研修サービス

詳細

- 期待される事業シナジー
- ・新しいマーケットの開拓
⇒シンカ社優良顧客(2007年8月期取引実績202社)へのコムテックワンストップサービスの展開
- ・新しいサービスの提供
⇒当社既存顧客へシンカ社のサービスを展開
- ・サービス提供体制強化
⇒既にベルハートにおいて新卒採用支援業務の一部を受託。関係強化によりシンカ社の運用体制の強化とコムテックグループにおけるトータルの収益の増加が見込まれる

職場環境の改善

楽しく、気持ちよく、緊張感を持って働ける環境／風土づくり

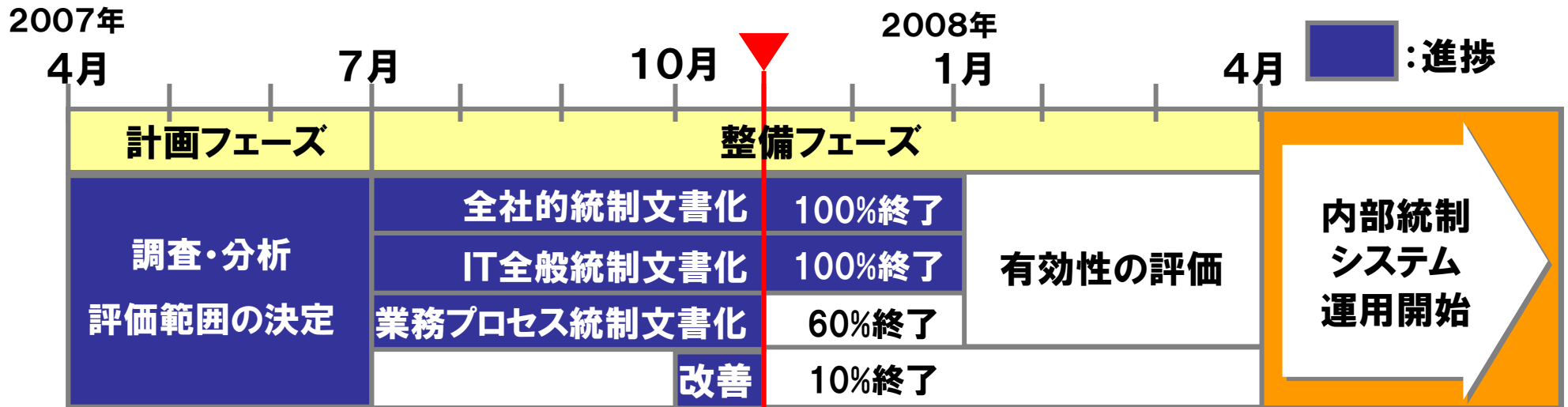
人材流出防止

活気のある職場作り

1. ITを活用したコミュニケーションツールの導入
PC・携帯対応 社内双方向コミュニケーションポータルサイト
『COMTEC CHANNEL』の開設・・・10月9日
2. 寺子屋式（事業部内のチーム、サークル）活動の推進
 - － 参加者が積極的に企画・実行するCS会（リーダー会）の開催
経営者・マネージャも講師として積極的に参加
 - － 開発技術者を育成する為のテーマ別勉強会の開催
基本情報技術者資格取得、ネットワーク基礎、開発言語 等
3. CR（カスタマー・リレーションシップ）要員の増強

内部統制活動の進捗

1. 内部統制システム構築の基本方針に関する決議(2006年5月11日)
2. 財務報告に係る内部統制システム構築の為に社長をオーナーとした「内部統制プロジェクト」を発足(2007年4月1日)
3. 内部統制プロジェクト進捗(2007年11月1日現在)



会計監査人、監査役と数回の協議を実施し全体の60%終了しており、予定通り4月より運用を開始する予定です。

08年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円, %)

< 単体 >	通期		前期比
	中間実績		
売上高	5,431	10,500	+2.6%
経常利益	341	700	+3.1%
当期純利益	184	360	+8.6%

< 連結 >	通期		前期比
	中間実績		
売上高	7,047	14,220	+2.5%
経常利益	353	740	+1.6%
当期純利益	174	370	+8.2%

※ 当該数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

株主様への還元

1. 配当金

	06年3月期			07年3月期			08年3月期(予定)		
	中間	期末	計	中間	期末	計	中間	期末	計
普通配当	5円	15円	25円	5円	20円	25円	7円	18円	25円
記念配当	—	5円		—	—		—	—	

※中間配当、期末配当のバランスを考慮し、当社株式の長期的な保有を促すため、中間配当を7円、期末配当を18円(予定)に変更する。

※平成18年9月30日を基準日に、1:1.2の株式分割を実施しているため、07年3月期については実質増配となっております。

2. 株主優待

優待基準 : 割当基準日 9/末日 2,000株以上

優待内容 : 花・観葉植物贈呈

贈呈時期 : 11月～12月

※大和インベスター・リレーションズ発行「株主優待ガイド2008年度版」掲載予定

当中間連結会計期間において、個別業務ごとに計上先サービスの見直しを行っており、前年同期比較にあたっては前連結会計年度分を見直し後に組み替えて行っております。

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

したがって、実際の業績等は、業況の変化等により本資料の予想数値と異なる場合がありますことをご了承ください。